

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県能代市扇田字扇淵 11 番地 1  
名称 秋田エコプラッシュ株式会社  
代表者 代表取締役 木村 好伸

### 秋田エコプラッシュ株式会社

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

### SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

地球温暖化や海洋プラスチック問題が叫ばれる昨今、プラスチックに係る社会環境は著しく変化しており、化石燃料から新たなプラスチック製品を製造することは、環境への負荷が大きい為、より徹底したリサイクルを求められる社会になりつつあります。

秋田エコプラッシュは、「リサイクルを通して地球も人も豊かに」の企業理念のもと、地域の再生可能エネルギーの活用を加速化させ、環境負荷の削減および循環型社会の構築に向け、地域とともに持続的な成長を目指して参ります。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R3年11月19日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 □社会 ☑環境	再生エネルギーの活用	本社工場 再生可能エネルギー100%『CO2 排出量ゼロ』(2021→2025) 第二工場(2022→2025)	・使用電力量： 本社工場：6,665 千 kwh 第二工場：120 千 kwh ・CO2 71-電力量：4,999 千 kwh、 73.7% (対前年比 15.4%アップ) ・今後、水力発電 100%へ移行、また はその他(太陽光等)の対応を検討 中。	7 11 15
□経済 ☑社会 ☑環境	社会貢献活動の積極的推 進	海洋清掃による海岸漂着物等廃プ ラстик類の回収。2021→2030 回収後の廃プラスチックごみの弊社 買取およびその代金の寄付。 2021→2030 回収した廃プラスチックごみを原料と した「ハーブポット」の製造・配布。 2022→2030	・海洋清掃活動：2023 年度 6 回 実施。延べ参加者数 282 名(対前 年比 91 名増)回収したゴミ数量 690 t (対前年比 100 t 増) ・寄付：廃プラ買取代金 14 千円、 国連環境計画ユネップへ寄付。 ・ハーブポットの製造：2024 年 5 月、 能代市教育委員会を通じ、市内の 新小学 4 年生 247 名へ寄贈予定 (対前年比 45 名減)	3 14 15
☑経済 ☑社会 □環境	働き方の改革	平均有給取得率 80%および各課 毎の平準化(2021→2025)	有休取得率(全付与日数に対する使 用日数)：74.59% (前年対比 11.66%減) 要因：増収による人員増加、産休者 2 名発生	5 10

ゴール 番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール 番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	